2月18日 金曜日 (17日発行)
昭和30年西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央區銀座3の5
電話(代表)京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437広告(〃)3995
編集局 港區芝田村町5の6
電話代表芝(43)1163番
東京振替貯金口座 170071番

第3011号

天気予報

老婆九十七名焼死

全収容者一四三名 行方不明17名

横浜で養老院全焼

【横浜発】十七日午前四時半ごろ横浜市戸塚区原宿七五社団法人フランシスケン修道院(院長カナダ人クレーク・クルッチェ氏)内の聖母園(代表者=杉満枝さん)養老施設南側階下のヨハネの部屋付近から出火、木造二階建の同養老院千百坪、牛小屋百七十五坪、肥料小屋五十六坪、礼拝堂九十六坪、計千三百卅七坪を全焼、同七時ごろ鎮火した、同養老院は旧海軍の衛生学校を改造したもので、人家から離れていたので水利の便はほとんどなく、消防車卅台が出動したものの五百メートル離れた国立横浜病院の用水池から給水する始末で手の施しようがなく、同施設はあとかたもなく消失した、この施設には九州、北海道など全国民生委員の手を通じて保護されていた六十歳から九十六歳までの足腰の不自由な老婆ばかり百四十三人が収容されていたが、殆んどが逃げ遅れ、午前十時現在確認された死体九十七(うち職員一名)で片桐セツさん(六〇)以下六名の軽傷者など四十六名は付近の国立横浜病院に避難収容された

焼け落ちた聖母園

行方不明者氏名 焼死者も含む

金盛いよ(七〇)=東京都武蔵野市、[illegible] 子(年令不明)厚木きよ(年令不明)=神奈川県三浦郡、梅若なが [illegible] 明)=神奈川県中郡、[illegible](年令不明)=東京都荒[illegible] 横浜市戸塚区 清水ハル[illegible] せん(年齢不明)北上き[illegible] 不明)田中つね(同)勝木[illegible] 山路ムラ(同)砂野初見[illegible] 藤トサヨ(同)滝野フシ[illegible] 村かよ(同)加藤はな(同)[illegible] 愛子(同)矢代かね(同)[illegible] 山口レイ
△鎌倉市 松本フサ [illegible]
△横浜市戸塚区 棚橋[illegible]

狙いはド氏の資格確認?

ソ連回答 首相への直接手交

佛は意外の感 交渉場所で注目の

[illegible]

金門、馬祖は防衛

ダレス長官演説 中共の攻撃企図に警告

ダレス長官

【ニューヨーク十六日発UP=共同】ダレス米国務長官は十六日、ニューヨークの外交協会で外交演説を行い、台湾問題について、もし中共が金門、馬祖両島を台湾侵略の足掛りにするため攻略を企図すればこれを防衛するむね中共に警告した、しかしダレス長官は米国は『大陸沿岸諸島としてのこれら島々を防衛する約束をしていないし、またこれを守る目的も持っていない』と語った

ダレス長官はさらに国府は沿岸諸島を中共に引渡すべきだとの考えを排して『このような処置が平和と自由の理想に役立つかどうかは疑問である』と述べた、また東南ア防衛問題についてつぎのように言明した

われわればバンコックで開かれる東南ア防衛条約機構(SEATO)会議で三つの問題、つまり軍事上の安全問題、外部から仕向けられた破壊工作にたいする安全問題および経済問題について討議する、私は会議でどのような決定が下されるか予測できないが、会議が東西間の協力の利益を示すことを確信している

ピノー氏 組閣に着手

十八日に信任投票要求

【パリ十六日発UP=共同】仏後継内閣の組閣の依嘱を受けた社会党のピノー氏は十六日、コティ大統領にたいし組閣を受諾するむね回答を行ったのち、有力な右翼諸党派の反対を無視して直ちに閣僚の選考を開始した

同氏はシューマン元外相(人民共和派)に副首相の地位を提供したが、外相のポストは暫定的に首相兼任とする方針を決定した、同氏は組閣受諾にさいしコティ大統領に『十六日夜閣僚名簿を提出し、十八日国民議会に信任を問うつもりだ』と語った

信任投票に成功すれば同氏は一九四七年のラマディエ内閣いらい初の社会党出身の首相となるわけだ

ア大統領、共和党首脳と協議

【ワシントン十六日発AP=共同】アイゼンハワー米大統領は十六日、共和党の議会指導者と定例会談を行い主として台湾問題について協議した、この会談では台湾問題について特別の発表はなかったもようでマーチン下院院内総務もノーランド上院院内総務もともに、アイゼンハワー大統領は太平洋情勢の全般的な説明を行ったと語ったが、それについて詳しく述べるのを拒否した

トルコ承認 パリ協定

【イスタンブール十六日発UP=共同】トルコ国民議会は十六日、西独の北大西洋条約加入にかんする批准法案を満場一致承認した

英国で建設中の原子力発電所

英國は明年中に最初の原子力発電所(出力四万ないし五万キロワット)をカンバーランド地方のコールダーホールに完成する

【写真は建設中の発電用原子炉二基中の一基この原子炉は天然ウラニウムを燃料とし石墨で緩速して二酸化炭素で冷されるAP=共同電送】

ダレス長官のインドシナ訪問日程

【ワシントン十六日発UP=共同】米国務省は十六日、ダレス国務長官の東南アジア集団防衛機構会議出席後のビルマおよびインドシナ三国訪問の日程をつぎのように発表した

▽二月廿六日ラングーン到着▽廿七日ヴィエンティアン(ラオス)到着▽廿八日プーンペン(カンボジア)を経てサイゴンに到着

粋人酔筆

一寸法師考

陰陽ということ、つまり裏と表のあることは宇宙の定理であって、森羅万象ことごとくこの定理の支配を受けないものはない。だからすべてのものは、陰陽両面にわたって知るのでなければ、ほんとのことは判らないのである。

ちかごろ中共のことがさかんに問題にされ現地視察の結果もいろいろ報道されているが、それらは大抵陽の面だけに限られ、陰の面、つまり裏の話はぜんぜん語られない。これでは中共のほんとのことは判らないのである。

なぜそういうわかりきった理屈をいまさららしく書くのかというと、中共の社会で性書がどのように流通しているかという点についてさっぱり話が伝わらないからである。こう書くと、中共の社会にそんなモノは存在しない。そういうことをいうのは人民中国に対する認識不足であると同時に大きな侮辱だと叱られそうだが、さァどうだろうか。

中国の性書すなわち春本は『燈草和尚』という特定の書物の名で呼ばれている。街頭の露店本屋が腰掛けがわりにしている本箱の底にしまってあって、表には出さず、客の方から『燈草和尚があるかい』というと、はじめて腰をあげて、箱のふたをとって古新聞紙に包んであるのを出して見せる。また相手によっては本屋氏の方から『燈草和尚はいらんかネ』ともちかけることもある。もちろん、種類は新古とりまぜていろいろあり、燈草和尚そのものは持っていないことさえある。

以上は実はマクラであって、この一文の本題は燈草和尚と一寸法師との共通性についての学説? をヒケラカスことにある。燈草和尚というのは『燈芯の中から生れたお坊さん』ということだが、それが指にたりない『一寸法師』そっくりなのである。話のすじをかいつまんでいくと、思春期の箱入娘が、ある夜ひとり私室にこもって『ためにならない』本を読んで、性のなやみにもだえていると、突然燈芯(ローソクもない昔の話だから、照明は油の燈芯を用いていた)の中から、指よりも小さい小坊主がとびだして娘にはなしかけ『いゝことを教えてあげましょう』といって彼女の下腹部にしのびこみ、小坊主の全身を没して、縦横無尽に活躍した。彼女は初めて知ったその愉しさに感泣し、毎晩来てほしいと願った。娘は以来毎日、日暮れを待ちかねて私室に入りびたり、朝おそく起きるようになった。まだ若くて美しい母は娘の様子の変化に気づいて、ある夜ソッと寝室をうかがうとまことにけしからぬ振舞いなので、サテワ…と飛びこんで見ると、居るべきはずの相手の姿は見えない。娘を問いつめていると、例の小坊主がヒョッコリ出て来て、こんどはその母に対して同じ術を施し、意外の珍味に母をも有頂天にさせた。以来母娘交替に毎夜このたのしみを享楽することになったが、母の方はモノたりなく感じて、もっといゝことはないかと小坊主に求めた。それならばと、なにかマジナイをしたと思うと、みるみるうちに立派な大和尚に変じた。そしてこんどはふつうの男性として二人を相手にしたから、この和尚に劣る旦那がかえりみられなくなった。そこで家庭争議が起り、とど、その秘密がばれて、旦那は道士をよんで、妖魔退散の祈禱をしてもらい、危うく母娘の腎虚死を免れたという、中国春本おさだまりの邪淫のいましめがオチになっている。

日本の一寸法師の話は、童話になっていて性の方面は除いてあるが、打出の小ヅチによって『リッパな大男』になるまではプロローグで、それからが本筋ではないかと思うが、どうですお立会い、なんと燈草和尚と一寸法師との思春期の娘における心理学的共通性が納得できたでしょう?

石原巌徹

東京株式仲値

□新株落△配当落 (17日10時現在)

特定銘柄							
東海上	323	日本曹	73	三菱化	88	カボン	59
郵船	68	旭電化	80	旭化成	290	三井物	174
新三菱	103	三菱造	82	山陽パ	93	第一物	100
日清紡	271	三菱重	73	日本パ	90	白木屋	—
味の素	283	石川重	107	国策パ	94	高島屋	—
三越	291	播工	153	東北パ	114	日活	88
平和不	395	東洋ベ	130	大東紡	87	松竹	—
三井金	118	三井造	114	商船	60	東宝	—
三菱鉱	104	日立造	47	三井船	59	大映	—
日鉱	93	浦賀	52	飯野海	—	日清粉	153
住友金	118	日平	36	西武	378	日麦酒	155
三菱鉱	54	古河電	79	藤田興	223	朝麦酒	173
古河鉱	84	東芝	73	東京ガ	85	キリン	201
同和鉱	117	三菱電	104	東電	458	宝酒造	86
住友炭	71	日立製	80	日銀	2175	野田醤	369
三井山	71	小松製	78	東銀	88	日本粉	—
北海炭	67	日本光	176	三井銀	—	昭和産	—
東邦亜	75	東京光	45	富士銀	—	東洋醸	94
日石	90	キヤノ	149	日証金	112	合同酒	—
帝石	72	日軽金	190	大正海	103	三楽酒	77
昭和石	88	東洋紡	—	住友海	120	台糖	195
大協石	170	鐘紡	136	安田火	130	明糖	115
東燃	134	大日紡	83	千代田	88	日水産	74
三菱石	92	日東紡	65	鋼管	76	甜菜糖	148
日東化	70	片倉	39	日製鋼	88	大阪糖	—
日産化	70	富士紡	104	八幡鉄	68	森永	260
三井化	105	呉羽紡	85	富士鉄	62	明菓	160
東合成	98	東邦レ	103	神戸鋼	74	王子紙	194
信越化	—	帝麻	70	日特鋼	154	十条紙	215
協和醗	108	中繊	55	日金鋼	63	本州紙	94
東高圧	106	帝人	120	日セメ	136	三菱紙	100
昭電工	73	東洋レ	157	小野	—	北越紙	55
		三菱レ	120	磐城セ	271	三井不	845
		倉レ	77	横浜ゴ	201	三菱地	532
				旭硝子	140	三井倉	107
				富士写	—	渋沢倉	—
				小西六	113	東洋埠	—

市況 保合圏内小浮動

前日引き際の下げ節りを映し寄物は一段と締る一方、一部に物色買人気も台頭して小戻すものも散見されるが、全般はあいかわらず見送り人気が強く保合圏内の小浮動を脱しきれない、特定株は日証金残の減少かたがた野村の新東工三万、郵船一万五千株買に支援され封値一三円方小締り、雑株も整理一巡模様から品薄株、金ヘン株中心に買物が入り、その他も日証金が業績の好転見越から五円高を示しているが商内は依然低調で部分高にとどまり、全般は強含み程度

▽高い株=東洋工十円、西武八円、日証金、日銀、三井不五円、日鋪道四円

内外抄

交渉地の問題で日本に屈したソ連、屈するは伸びるため位いではなく、丸め込むため。

◇

徴兵制の意図はないと民主党あわてて両社に反駁。人気消し薬をふり撒かれてはねえ。

◇

硫安問題の妥結は、野口氏が死をもって調停した結果のようなもの。南無阿弥陀仏。

◇

台湾問題の十ヵ国会議に国府も加えてはとの話、この忙しい時に冗談話はよせ。

◇

三千円の賃上げ要求でストをはじめる炭労、その分は賃金不渡りの仲間へ回す積りだろうな。

ないがい川柳 吉田[illegible]選

暗轉とかつて無気味なクレムリン　埼玉 高野 光

税金で飼う動物を定める日　千葉 松崎 光水

洗濯機は要らず夫がよく洗い　千葉 根本 榮

いつ聞いてみても演説皆たのし　野田 川鍋 一醉

すぐ膝へ来る手を秘書はソツと除け　文京 木村いつ秋

[illegible]た書の妻が起きてた月日　中野 高野藤太郎

【賞】他人の褌スター立派に成し遂げる　千代田 南 渡波

ジグザグコース 政治の犠牲者

醤弾男河野農相によって投ぜられた一石―硫安値下げ問題は、世を挙げての選挙戦の真只中における唯一の国内問題みたいな形となった。

この問題に登場する面々は当代の顔役ないし政財界の代表者である。火つけ役の河野農相をはじめ、政府側でこの問題にタッチしたのは一万田蔵相、高碕経審長官、石橋通産相ら、いわゆる〝民主党ブーム男〟これにたいし『政府独善』と一時は辞表を叩きつけようとした肥料懇談会々長の工藤昭四郎は経済同友会の代表的顔役。当の硫安協会のメンバーには藤山愛一郎(日東化学社長)石川一郎(昭和電工会長)という二大団体屋の頭目のほか林彦三郎(日本水素会長)小坂順造(信越化学社長)その他の巨頭連がズラリという盛況である。だから表面的にはこの問題は選挙管理内閣という不安定な政治力しかない政府と、時の財界主流とが、硫安の値下げ問題を巡って四つ相撲したということになる。その結果は三菱化成の野口正蔵常務の急死に遭った財界側が脆くだけし、政府側に軍配が上って幕となった。腐ってもタイ〟というが、暫定政権でも時の政府とはかくも強いものなのである。

ところがこゝで聞き逃すことのできない発言があった。財界でもっとも与党的とみられる藤山愛一郎が『野口は河野農相に殺された』ともらしたことである。

これ以前、農相が硫安値下げをぶったが選挙区の農民票がゴッソリ河野へ流れこむとの評判が立っていた。このため同じ選挙区の小金義照など地盤の動揺で青息吐息だとのことだ。河野にしては『してやったり』というところかも知れないが、これが噂のように〝三白景気〟の筆頭であった硫安業者から思ったほど選挙資金が出なかったための大ナタだったとすれば、釈然としないものが残るのも否めない。『政治に犠牲はつきもの』とはよくいわれるし、儲けすぎた硫安業者に値下げさせるのは一向差支えないが、動機が不純であれば野口常務の死も必然的な関連性をもってみられてくる。(佐)

【写真は故野口正蔵氏】

浅草の鬼 (84)

浜本浩 作
栗林正幸 画

信号燈(八)

黒眼鏡の男は、戸口に突立って、うさん臭さげに新子を見た。

仰向けたソフト帽の山が、やっと新田の耳に届くほどだが、グロテスクに発達した左右の肩と、がッちり座った[illegible]の格好が、獰猛なブルドッグを連想さした。

やがて、薄あばたのてかてか光る赤ら顔を、むッと新田に向けて、口を切った。

『誰だい?』

『ワシも知らんのよ』

新田は、くすぐったそうに答えた。

『ふうん』

黒眼鏡は、鼻であしらって、改めて新子に訊いた。

『おめえさん、松限のバシタか?』

『バシタ? 何のこと?』

バシタが情婦の隠語であることは、新子も承知していながら、わざと、とぼけて反発した。

『いろかというんだ』

『冗談じゃないわ』

新子は、笑を綻ばした。すると黒眼鏡も、いくぶん気を許して、

『見たことのある顔だぜ。はてな―』

ポケットから、煙草を出し、指に挟んで、小首を傾げた。が、思いあたらぬ様子で、

『どうして、此処に居ることが解ったんだ? 松限から、呼び出しが掛ったのかい?』

と、別の事を尋ねた。

『いゝえ』

新子は、首を横に振る。

『それじゃァ、解りッこないぜ』

『嗅ぎつけてきたわ』

『ヘッ、犬みたいなやつだ。なァ松さん』

黒眼鏡は、新田の松限に向き直った。

『せっかくのところを、邪魔するようだが、このねえさんにな、二度と、この病室に出入りするなといってくれ。今度、俺が見つけたら、無事には帰さんと、はっきり断って置くんだな』

黒眼鏡のあばた面には、もう微笑の片鱗も残ってはいなかった。

『嫌われたわね』

新子は、腰をあげた。ふと、階段口で振りかえると、病室の戸口から、黒眼鏡がじっと見送っている。

―しつこい男―

新子は、いつまでも、黒眼鏡の視線を背中に感じるが、木枯しの吹きすさぶ街に出た。

十分後。

新子は、観音堂の広場で、香具師の口上に集った人垣の中に立っていた。

婁斎の柔道着に黒帯を締めた、卅男のオオジメ師(専ら得意の弁舌を商売の種にするテキヤ)は、ぐッと反身になって、

『いゝかネ、まず生身の火あぶりというのをやって見せてやる。ずッと前へ出てくれ。諸君が交通違反をやらかしても、罰せられるのは吾輩じゃ。しかし、実演中に君たちが懐中物を掏られても、吾輩は責任を負わんぞ。笑うなッ、吾輩はミスター・ワンマンの如く無責任な放言はなさん。事実、この中にも顔馴染みのスリ君が潜んでござるわ』

が、このオオジメ師は、新子のことをいっているのではなく、出鱈目のタンカであることが解っているのに、新子は思わず、外套のポケットに手をやった。そこには黒眼鏡の出現に妨げられて、新田の手許に返しそこねた首飾りが潜んでいるのである。

性感測定法アチラ版

14点以下は"不感症"

[illegible]

測定法

▼十四点以下　の人は不感症

▼十五点＝廿四点　の人は平常の性感の所有者である

▼廿五点＝卅四点　の人は満足な性生活を送っている人

▼卅五点＝四十点　の人はウソをついているか、そうでないとしたら異常性感者である

色事師

楽しんで月5千圓

9人の恋人抱え左団扇

[illegible]

第一話　公爵夫人の裸体画

[illegible]

「アラ、あたしが画家なんかに……」

「だって、バッハぐらいロマン……」

第二話　とんだ夫婦喧嘩

[illegible]

第三話　娘とバッハの曲

[illegible]

美人王国

[illegible]

第四話　教えて頂戴！今晩

[illegible]……が歩いていました と、突如あらわれたのはギャングピストルをニュッとかの女の顔の前につきつけました、そうしたらかの女は

『嫌よ、口では』

阿波屋（大井町・本店・支店）

……音楽家はいませんもの

瓦版

チョイ変ったポン引日那

『一枚でシロート娘どうです』と上野駅前で誘われ、輪タクに乗ったらこのポン氏（四十男、男前、体格ともによし）なかなか政治通で車を引き引き『私はA先生の崇拝者です』と某右翼闘士の名を挙げて選挙談義を一席―着いたところは中入谷の石塀に囲まれた瓜風の広い家やがて近所に住んでいる洋裁ガールと自称する廿二、三の淑女？が現われたが、彼女、寝物語に『この家ぜんぶあの小父さんのモノなの、私たちには二割しかくれない癖に自分じゃ輪タク引っぱって政治資金？作ってるんですって』とはいやはや呆れたもの

骨までシャブるエロ・マダム

三ノ輪方面から都電町屋一丁目で下車、左側へ入った道を数丁行った辺にハイカラなパイ一屋Pがある、そこの娘二人と姥桜二人は揃って男好きタイプでお世辞もうまいがもの凄くガッチリしているという噂―とにかく四人とも、金のありそうな客と睨んだが最後、あの手この手でトロリンコンにさせた挙句、一ヵ月や二ヵ月は二号にでも三号にでもなってくれるがシボるものがなくなってしまえばいとも簡単にハイチャイ、このマダムお色気抜きでも金儲けは好きらしく、先だっても住宅難に困っていた某親娘に貸間をして高い敷金や家賃の他に何だかだとシボリ取ってポイしたという噂だが―

『とにかくテクニックが巧いからねェ』と性こりもなく通っている男性もいるからやはり女ならデワです

奇怪、おきよ姐さんの結婚

世紀の女優エヴァ・ガードナーが一夜を過して話題を生んだ吉原の男娼の巣"おきよ"のマダム？おきよさんが、こんどは如何なる心境の変化でか天下晴れて？本物の女性と結婚、またまたモノ好き共をニヤリとさせている、この奥さんなかなか素朴な感じの美しい女性ときているからなお不思議？な話だが、おきよさん澄ましきった顔して『女がいると家の中がきれいになっていいですネ』と世の男性並みのことをいっているんだからますます奇ッ怪

飲み屋で拾った女の素描

飲んで笑って、歌って口説いてなにがしかのチップを置いて帰るのが、一パイ飲み屋の気安さである、その"飲み屋"の女の"生態"はかつて社会学者も心理学者もこれを分析したことがない？ほどの複雑さ…飲み屋の"裏窓"に映し出されるその生態は、ヨッて件んの如し…

『どう考えても判らんですねェ店にくる女の人の話を聞いたり、ときには相談に乗ったりすることも多いのですが、ある程度は判っても、それから先が判らんのです、どういう心理なんでしょうねェ』ある焼鳥屋のオヤジのしみじみとした述懐である

そこは五反田界隈、飲み屋女の溜り場のようなもので、彼女たちが息抜きに串を焼かせながらとりとめなく喋べっては帰る、こんなところが浅草、渋谷、新宿、池袋あたり、盛り場とよばれるところに、二ツ、三ツは必ずある、そして、どこのオヤジもこうした述懐を聞かせるものだ

そのオヤジ連の話をまとめると、"どう考えても判らない"彼女たちの心理は、まずその生活を類型的に区別していて、どうやらおぼろげなものが現われてくるようだ

まず『腰掛型』＝これはつまり失業型である、もとはレッキとした職業を持っていながら、それを活かす道がないため一時しのぎに飛び込んでくるつぎが『絶望型』＝どうせ浮かばれないのヨ、面白おかしく過せばいいじゃないの…と境遇を諦めている

最後が『献身型』＝病気の夫を抱えたり、子供を養う未亡人、涙ぐましい哀話の主が多い

【写真は飲屋風景】

モダン歳く記

扇の的

寿永四年二月十八日の日没近い頃である。屋島沖に集結した平家の軍船の中から小船一隻が岸に近づいてきて、横向きに舟をとめ、中から年の頃は十八、九の柳の五衣に紅袴きた女官が立ち上り真赤な扇に金箔で日輪を描いたものを竿の先につけて掲げてみせた

『あれは何だ？』と陸にいた源氏の大将義経は後藤実基に訊くと、『射よというのですな、大将の賞方が出てあの美人を眺めているのを横から狙い射ちにする目算でもありましょうが』という。『よし誰かあれを射るものはあるか』衆に推されてでてきたのが那須与一宗高で当年廿歳位の好男子、濃紺色の直垂に萌葱縅の鎧をきて滋籐の弓をもっている。『とても私如き者には』と辞退するが命令は厳よくきかなくてはならない。折からの北風に波立ち船が揺れるが『南無八幡大菩薩』と祈り、よっ引いて、ひょうと放つ。この鏑矢は見事に扇の要を射通し、扇は空に舞って波に落ちた。敵も味方もやんややんや。船上の官女と与一とにロマンスの花は咲かなかったが、ウィリアム・テルの林檎落しぶりはお色気もあろう。（鮭）

あすの運勢（三）　高島象山

＝二月十八日＝

▲一月生＝自己の技倆と分限を守り静かに努力すれば栄達あるなり

▲二月生＝見當違い思い違いありて不覺を取り失敗あり盗難紛失有

▲三月生＝堅忍不抜の精神を以て懸命に努力すれば栄達する開業吉

▲四月生＝何事も驕らず倦まず現實的に着々と努力すれば効ある也

▲五月生＝万難を征服すれば光明あり怠慢は失敗を招く世話事損有

▲六月生＝物事躊躇せず英気を以て断然進んで成功あり開業造作吉

▲七月生＝物事に動揺不安を生じ目的破れ希望乱れ易い堅忍努力吉

▲八月生＝物事に狡猾にして却て事を亂し失敗を招来する慎重なれ

▲九月生＝不言實行し一筋に進めば栄達あり開業移転造作結婚大吉

▲十月生＝秩序正しく素志の貫徹に務めて進展する商賣利益は多し

▲十一月生＝心進まず気分は重し内外共に不満と不平の多き日なり

▲十二月生＝商賣有利に進展し利達あり遠方のことに有利に至る也

正体

人魚？　それとも　焔の精？

情熱？　それとも　狂乱？

さァ　あてて

わたしは　一体

なんなのよ

あてたら

わたしは

その人のもの

さァ　わたしの

正体をいって頂戴

【写真はEP特約】

海外だより

観戦を強要

インデアナ州のプルームのフィールド市の今年卅三歳になるマリー・グレーなる婦人が新年早々夫を射殺してひっぱられた、彼女のいうところによると、夫はいつも彼女を打擲し、最近になって廿四歳の淫売婦と三人で一緒にシングル・ベッドで寝ることを強要、夫と淫売との合戦を熱心に観戦しないとひどい目にあわせたので射殺したのだそうだ、裁判は二日かかり、結局十年の刑をいい渡された

性はビジネス

最近故郷の英国からアメリカに帰って来た画家ジョン・マイヤーズ氏は記者団に向って『ロンドンッ児はアメリカ人の性第一主義にホトホト困り抜いている、アメリカじゃ性はビジネスだが、英国では性は道楽であるのだから、余りロンドンッ児を悩まさないで欲しい』と苦情を述べた

女優の名言

シャーリー・ウンターズがある記者に、貴女がもし夜会でローレンス・オリヴィエの隣りに座ったら何んと仰有るつもりかと聞かれ『何もいわないわ、ただお客が皆帰った後でまた戻って来て下さらない？と聞くだけだわ』と答えた

―新刊紹介―

◇笑"粋な紳士と淑女のための雑誌"と銘うった月刊雑誌の第二号、菅原、森脇、田辺、杉村四氏による特集『蓄妾論』奥野信太郎、阿部艶子対談『娘ごころ』福田蘭童『蝸虫道中記』その他数十氏の随筆酔記から実話など山盛りで『笑の泉』にストーリーを加えたものを狙っているようだ、一号より二号に落着きがみられるが、全てをねらって焦点がぼやける危険がなくもない（A5版二九四頁・百円・荒木書房新刊）

世界艶笑譚（インドネシア）

……馬車が鈴を鳴らして走っているそばを、すうっと高級車が音もなく追い抜いてゆく、前代と近代がごっちゃに同居しているこの国は、またはるかに多い一夫多妻国。男のっぴきならず手伝って相変らずに、今日は第二夫人の配に泊り歩き、女達はノロノロした馬車にしか乗せないで家を守って夫が回っていでショ。だからタマには乗心地のいい高級車に貴男を乗せておとなしく待っている国柄であげたいと自動車の運転を習ってうらやましい第二夫人ウジャールの許に、スケレジョが二週間ぶりにやってきて愛撫の時を過しますと、以前とはまるで勝手の違ったテクニック。そこは千軍万馬のスケレジョのこと、ウジャールの浮気がピンときました。

『わしの来ない間は退屈じゃろう？』『おかしいわネ、今更そんな…』『この頃何をやってるの、わしの留守中は』『わたし、いつもてんの』

浪人街道（71）　木村荘十　野口昂明画

卍巴（五）

若党の喜作は、酒の仕度をして二人に勧めながら、ぴたりと座り直すと、白紙に包んだ金子を啓之助の前に差出した。

廿五両包が四つあった。

『これは何だ』

『旦那様の金子で、…勝手で御座いましたが手前一存でお預りして置きました』

『五十両の金にも困った啓之助、百両といえば大金。一向にわけがわからぬが』

『実は、お邸を引払う日、これも何かの足しにと存じまして、道具屋を呼んで、道具類を売払っておりますと、品のいい老母が旦那様のお留守を承知で訪ねて参りました』

『ふむ』

『しかも驚くことには、私をご存じの様子で、この金子を差し出し、早かれ、遅かれ、再び江戸にお戻りになるに違いない。その時の用意に、これで家でも持ってお待ち申上げてくれというお話しで御座いました。私は、これから旦那様のお後を慕う所存だと申上げますと、それは上策ではない。それよりも、かくれ家を作ることが先だと仰有いまして、お名前をおききしても、啓之助殿にこれを渡せば分ると、お名乗りにならず』

『そうか』

『お分りになりましたか』

『いや、ハッキリはしないが、心あたりはある。その老婆は、濃い美しい白髪で…それ、隣り屋敷のご隠居に似た方であろう』

『なるほど、道理で見たことのある方のような気が致しました』

『ふうむ』

『お分りで』

啓之助は、頷いて盃をとった。自分達の出生のことを告げた、あの老婆に違いない。一体あの人は何者なのか。そんな風に、自分自身を案じてくれるのは…もしや実の母ではないか。

啓之助はふと、自分の両親のことを考えて、身にしみるような寂しさを感じた。

親に捨てられた人間…父に対する激しい怒りが…怨みが…燃えあがったが、その怒りは、紙でも燃したように、忽ち消えて、ただ寂しかった。

『その老婆から、他に何か伝言でもなかったか』

『はい、旦那様には、決してご短慮を遊ばさぬようと、くれぐれも…また手前には、御老婆様御自身も、他人に見張りされている身、この喜作も、かくれ家を何者にも知られぬよう、心して、居所を定めるよう、また、不自由ではあろうが、決して人目につく暮しは致しませぬようにとのお頼みで御座いました』

『ふむ』

狂斎は喜作に促されて、

『そんな訳で、この狂斎が喜作に相談をうけまして、この裏長屋を選んだので御座いますが、これからは、道楽をしてお家をご勘当になった、さる藩士の御次男坊というようなことにして』

『なるほど、それもよかろう』

『この右隣は大工の留八、左は彫物師の藤兵衛、向うは町内の使い走りをしている三太、みなたあいのない気のおけぬ人間ばかり、当分、ここでご辛抱を…』

狂斎は、そういって、ほっとしたような顔をしたが、その頃、美代吉の身に大難がふりかかっているなどとは、夢にも気がつかなかった。

今晩のラジオ　17日（木）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷お伽のランプ『人魚の歌』 25 物語『オテナの塔』	00 医学の時間 友田正信 30 科学小説『蟹の物語』解説 中谷宇吉郎	10 劇『こんちは横丁』 5 おしやれクイズ 55 スポーツ・タイム	00 劇『すずらん太郎』 15 東京キユーバンボーイ 45 スポーツ・ニユース	00 劇『ポッポちやん』 20 時代劇『銀蛇の窟』 35 歌謡百貨店
7	00 ニユース・天気予報 15 録音ニユース 30 浪花演芸会 ミノル・みどり A助・B助ほか	00 名曲鑑賞 イヴの歌 フオーレ作曲 .0 友への手紙 デンマーク便 朗読 篠田英之介	10 録音ニユース 20 平岡養一の木琴独奏 .0 ミユージツク・レストラン 笈田敏夫 旗照夫	00 録音ニユース 10 ジヤズヒツトメロデイ .0 私は人気もの 司会灰田勝彦 近藤圭子ほか	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた 内海突破 30 浪曲忠臣蔵『神崎東下り』吉田奈良丸嬢
8	00 歌の三人集 歌小畑実 美空ひばり 青木光一 30 劇『由起子』津島恵子 木村功 七尾伶子ほか	05 教養特集 経済時評『架空経済閣僚懇談会』有沢広巳 東畑精一 中山伊知郎 美濃部亮吉	00 くすくす・くらぶ 司会木戸並 藤本二三吉他 0 のんき裁判 春日八郎 丹下キヨ子 藤原釜足他	00 浪曲学校 司会林家三平 篠田実 早川燕平他 30 私と貴方の三つの歌 ビシヨツプ節子 牧嗣人	00 スピード・クイズ 司会鳴海アナ 30 漫才学校『家出娘の巻』蝶々・雄二 A助・B助
9	05 ニユース解説熊谷幸博 15 リズム・パレイド 歌江利チエミ 私の願い他 40 時の動き	00 劇『父親』中村伸郎 村瀬幸子 鈴木光枝 40 放送詩集 北川冬彦の作品から 行列の顔ほか	10 楽団南十字星 シヤンソン集 ラメールほか 30 劇『哀愁日記』津村悠子 仲谷昇 大木民夫他	00 ジヤズ・ゲーム 司会ジエームス コンデほか 30 マイクの広場・録音構成『幼稚園』	00 ヴアラエテイ『パリのお嬢さん』石井好子ほか 30 新平家物語『清盛狐狩の巻』語り手 徳川夢声
10	15 邦楽名曲選 長唄『英執着獅子』伊十郎 栄二 40 こんな話 松井翠声	00 ❶初級英語 梶木隆一 ❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 きようのニユースから 15 俗曲 唄市丸 30 講談『大菩薩峠』如燕	00 英文和訳 岩田一男 30 解析（1）戸田清	00 劇『裸一貫』滝沢修他 35 劇『四十八人目の男』坂東鶴之助ほか
11	20 ❶明日の話題❷随筆『早春の消息』若山喜志子	00 経営メモ『三月のねらい』七曜会◇新聞論調	10 文学と政治 石川達三 阿部知二 河盛好蔵	00 宣伝の談話室 10 フランクの交響曲	00 スポーツ・カレンダー 40 旅の恥 近藤日出造

テレビ　★NHKテレビ★ 6・00 漫画 6・10 波止場の子 6・40 日本画人伝 7・15 映画『酒造りの町』 7・30 新芸座ショウ 8・00 スリーステツプ 8・0 歌の花束 奈良光枝 三条町子ほか　★日本テレビ★ 6・00 おもちや箱 6・15 総選挙を地方にみる各社 6・45 関原和子のピアノ 7・30 千一夜『お脈拝見』 8・00 映画『唄祭り八百八町』美空ひばり 川田晴久ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 判事池田克氏に聞く 8・05 名演奏家の時間 8・30 趣味の手帳津田青楓 9・45 青いノート保坂弥生 10・05 けさの話題 小秋元 11・15 菊池寛短篇集 12・30 ラジオ屋席 1・05 婦人の時間 久米愛	8・00 療養文芸川上三太郎 8・30 大作曲家の時間 9・15 学校放送国語・音楽 10・00 小学校低学・中学・高学年の時間 11・45 日本の古典『狂言』 12・10 食後の音楽 1・15 衆院候補者政見放送	8・20 ラジオ・スケツチ 9・45 お風呂屋の洗髪料 10・10 名作『今ひとたびの』 11・45 歌・若山彰 小畑実 12・15 中村八大モダン楽団 12・30 落語『つづら泥棒』 1・05 ヒステリーの言葉 2・20 音楽のさんぽみち	8・25 劇『ミナモトさん』 9・00 むかしの歌いまの歌 10・40 劇『君ひとすじに』 11・35 劇『東京の人』 12・00 講談◇東京マンボ 1・25 ラジオ寄席◇歌謡曲 2・30 民謡名所めぐり 3・00 歌うバースデイ	7・35 放送論壇 伊藤正徳 8・10 劇『おとこ大学』 8・45 お好み歌謡曲 9・00 劇『サザエさん』 9・45 歌とお話 河村順子 10・00 きんぴら先生青春記 10・45 枕のいろいろ 11・00 劇『胡椒息子』

二重苦のパチンコ業界

單発切替えに新規格の追討ち

猫をかむ窮鼠宛ら
ギリギリ一分間40発の線
"訴訟しても"と強腰

連発式禁止に次いで今度の単発式新規格の決定で従来の単発機はご法度という二重苦も手伝って切替えバトン?を渡すのにパチンコ業界はてんやわんや、なかには資金関係で四月一日の切替えが出来ない業者なども出る騒ぎ、以下は単発切替えを目前にしたパチンコ業界の表情—

都公安委員会がさきに決定した連発式禁止はその後全国に波及、パチンコ旋風を巻起しているが、その後追うちとしてオール十五以下、一分間の打球数廿個以下という単発式の新規格には、全国で百六十万台、年間千数百億円（都内では廿万台、百数十億円）という売上げ……界に、まず……巻起し『……と『全国……の代表者……全国遊技……織し対策……

東京一を誇る銀座のMパチンコ店

その結論は単発でも一分間三、四十発打てるものなどを認めてもらわなければ、採算が合わない』ということに意見の一致をみ、最悪の場合は営業の自由と生活権の侵害として訴訟をも辞さないとの強硬態度をとっている

発式禁止令以降の都内パチンコの推移をみると、禁止令前の十一月末は三千二百五十軒、昨年末には約二百軒減り三千六十八軒となり（警視庁保安課調べ）さらに一月に入ってからは新規開業は切替え後の状勢をみてからというものが多く殆どない、しかし例外としては銀座のド真ん中に鉄筋コンクリート三階建の パチンコ店"M"が開業し、四月の切替えにそなえ早くも自家工場で新型機の生産を開始、この十八日には試作品を取寄せて展示会を開き、三月末までには全部新型機に取換えるといっている、だが大部分は取りかえが出来ず、五、六百円出して改造した機械をそのまゝ使用するのが多い、連発式禁止旋風のおかげで"造屋"という新商売が生れ、小規模のパチンコ業者間では引張りダコで、メーカー達の青息吐息の姿を尻目にわが世の春を謳歌している

警視庁で、四月以降は各署の保安係が切替え後のパチンコ店を一斉に取締り、単発式の新規格に違反した機械を取付けている業者に対しては『公安委員会条例違反』として従来三千円以下の罰金だったのが三ヵ月以下の体刑又は五千円以下の罰金、又は許可の取消しか停止処分に付すという厳罰主義で臨むといっている

"袋の鼠"青酸自殺
侵入した賊、逃げ道失い

十六日夜十一時ごろ杉並区善福寺五八会社員加藤忠代治さん方に家人不在中裏の便所の窓を破って侵入した男があるのを付近の人が発見、逃げ口をふさいで一一〇番に急報したのでパトロールカーが現場に急行すると賊は逃げられぬものと観念し、茶の間で青酸カリを飲んで自殺した荻窪署の調べでは同町一八四工員秋本一利(三五)と判明。

カミソリ自殺

十六日夜十一時ごろ大田区大森一の四一九無職三畑茂(三八)は自宅四畳半で首を吊ろうとして家人に発見され止められて西洋カミソリを持ちだし頸動脈を切って自殺した、精神分裂症から

伊から姉に手紙
持逃げ女事務員

去る十二日十二万円の銀行預金をおろしたまゝ行方不明になっていた台東区坂町一一東西商事会社の女事務員M子さん(一九)について上野署では誘拐か持ち逃げの疑いで同女の行方を追及していたが、十七日朝同署に『妹から手紙が来ました』と同女の姉道子さん＝仮名江東区亀戸町一の一三＝が出頭したそれによればM子さんは伊東温泉大阪屋旅館に一人でいるらしく、手紙は『姉さんにだけ居所を知らせたい』という内容だけで詳しい事情は判らず、同署では十七日朝同女を引取りのため伊東に発った

女中さん襲わる

十七日午前二時十分ごろ墨田区寺島七の一七四先で同区墨田町一の一〇二八飲食店女中矢部ユキコさん(三五)は後から来た卅六、七歳、五尺三、四寸、黒オーバーの男に抱きつかれ日本刀ようのもので脅かされ、現金三百円入りのビニール製化粧袋を奪われたと向島署に届出た

血液協会か病院へ
学資の足しに血を売る苦学生

【読者のポスト】決記に解明へ 住所、職業を明記した問題提出、『ポスト係』へ 採用分に薄謝呈 困った方を名に

昨春地方の高等学校を卒業、神田の某私大に通学している廿一歳になる男子です、地方出身とて相談相手もなく、アルバイトも思うに任せず自分の血を売って学資の足しにもと思います、採血申込場所収入などお知せ下さい（江東区・仲田生）

◎現在都内に血液を売って生活、学資にという人は一万余にのぼっている、日赤中央病院内血液銀行のように無償で血液をプールしているところは別として、血液を買って貰うには輸血協会のように会員組織になっていて、病院が必要な時に血液を売る最寄の血液協会へ行くか、直接最寄の病院へ行けば血液銀行を持っている病院だったら毎日採血しているから条件が揃えば採血に応じてくれる、またプラスマ（乾燥血漿）を作っている日本製薬葛飾工場（葛飾区本田立石町一四五、受付午前九時から午後三時まで）横浜工場（横浜市西区北幸町二の一一六受付は午前中）の二工場でも血液を買っている

◎東京都輸血連合組合（台東区坂本二の五＝電話(84)五三二一）の話によると現在都内卅数ヵ所に正規血液業者がおり、血液の売買に当っている、性別は問わないが年令は成年に達したものから大体卅歳前後までで、健康診断の上ワッセルマン反応（梅毒反応検査）貧血状態を調査し期間は大体二、三日かかるのが普通、採血までには二回ほど通う覚悟が必要、採血ときまれば会員証を交付され一回の採血量は二〇〇ccが標準で手取り九百円から千円にはなる、一回採血すると二週間位は健康上採血出来ない

◎国立第一病院（新宿区戸山町一）東京医科大学病院（新宿区柏木一の五三）などの一流病院へ直接出向いて条件を聞かれるのがよいが、採血標準は二〇〇ccで値段は四百円—四百五十円、本人のコンディションに応じて一回四〇〇—六〇〇ccまで採血する場合もある

◎日本製薬の場合は前記葛飾、横浜工場で精密な健康診断、反応検査の末、採血されると二〇〇ccで四百円程度と栄養剤が貰える、以上採血に要する検査はどこでも同様厳重だが、値段は血液の利用法、需要度によってまちまちである

酸鼻の極 養老院惨事

生き残り、只泣くばかり
卒倒する者、念仏唱える者

百名にちかい老婆の生命を一瞬にして奪った横浜市戸塚、フランシスケン修道院内養老院は東海道に……カタマリになった死体が文字どおり累々として全くの地獄図絵をくりひろげている、鼻を衝く死臭を……手のほどこしようもなく、桜木町事件をまざまざと再現する恐怖の広場と化している、その中で焼け……じて難を逃れた人々は戸塚消防署員らの手でやっと八時過ぎ約七百㍍離れた国立横浜病院に収容され……ーワー』と泣き叫ぶばかり腰が抜けて立上れない者、ショックで倒卒する者、ふるえながら『アーメ……

横浜国立病院で手当をうける生存罹災者たち

『熱い、熱い』と悲鳴
大部分が病氣のお婆さん

【横浜発】九死に一生を得て国立横浜病院に収容された東京都港区麻布新門前町二関口こうさん(七〇)は恐ろしかった火災の模様を次のように語った

ギーッという異様な音、焼けつくような熱気に眼がさめたときには一面の火の海で、焼け落ちてくる天井を避けるためハダシのまま手さぐりでただ暗い方へ暗い方へと逃げた、大部分が中気や神経痛で足、腰の立たない年寄ばかりなので自分一人が逃げるのがやっとで、『アツイ』『アツイ』の悲鳴の渦を聞いてもどうすることも出来なかった

独立建物として最大の記録

戸塚の養老院災害事件は独立建物としては火災史上最大の惨事といわれる、戸塚消防本部の調べによると、同様のケースでは昭和廿四年岡山で盲唖学校が焼失したが、カンのよさと平素の訓練がよかったため百数十名の収容人員中重軽傷者は僅か数名に過ぎなかった、これに対し廿六年北海道岸の映画館が出火した際は四十三名が焼死しているが、今回のように大量の焼死者を出したのは初めてである

なお国家消防本部では廿八日から予防運動を実施することになっていた

防火施設に欠陥
しばしば警告受けていた

厚生省では十七日早暁の横浜市戸塚の養老院大火を重視直ちに独自の立場から調査をはじめたが、同院はさきに防火施設不良と判定されしばしば警告を受けていた矢先の出来事であった、厚生省はさる廿一年一月全国的に保護施設の実態調査を行ったが、これによると同院は卅五の居室のうち廿四室が二階にあり、木造建築のため当時の防火施設検査で非常階段および防火壁が必要であることを強く指摘され、防火施設不良と判定され警告中のものであった

鶴田同省施設課長談 現在私設の養老施設は都道府県知事の認可権限になっているが、国の補助金を受けているので厚生省では新しく開くものでは、二階に居室のあるものには補助金を出さない方針でやっており、心配したことが起ったことは非常に残念だ、なお日赤でも神奈川県支部から救護班を急派する一方本社からとりあえず衣類を現地に急送した

さあ、もうじき一年生

○…坊やの裸は愛らしいというより、どこか崇高なものを感じる、無邪気さが溢れているからだ、いま都内の各小学校では一斉に、この四月新入学する坊や達の知能テストと身体検査を行っている、『ザア坊やいらっしゃい、おやポンポが大きいネ、おいしいご馳走を食べて来たね…』校医がやさしくいうと、子供達はクスクス笑う、大きな体格の坊やがきた時だった、『ウーム力道山みたいだね…』に明るい笑いが部屋に満ちた、そして付添いのお母さん達迄が一緒に笑い崩れた

○…窓外をみると北風が吹いて木だちが震えている、だがこの部屋はストーブが赤く燃えて温室のように暖かい—小学校の頃誰もが経験するのだが校医の握る聴診器がヒンヤリ胸に当ると、なんかそら恐しい気がしたものだ、然しこうして楽しくやってくれると子供達の胸には『ボクもあと一ヵ月あまりで一年生なんだ』の明るい希望が湧くのだった、—春新入学の足音が聴診器をあてる先生の耳へコツコツ響くのだった

春の試写室 ……⑤…… 【写真は麹町小学校】

元區議、恐喝で逮捕
紅露元代議士も取調べ

目黒署では東京地検と協力、昨月下旬目黒区下目黒二の四二八元目黒区会議員、元目黒信用金庫理事長松沢幾太郎(六九)を恐喝の疑いで逮捕取調べていたが、東京地検ではさらに十七日朝から松沢の弁護士である目黒区鷹番町八六元代議士元農林政務次官紅露正氏(六八)＝参院議員緑風会所属紅露みつ女史の夫＝を共犯容疑で取調べることになった

調べによると松沢は紅露氏などと共に同金庫が日殖保全などと同じに金融に困っているのにつけ込み三百余万円を喝取していた疑いによるものであり、同金庫の内容も採めており訴訟沙汰になっていた

革新系 二名逮捕
戸別訪問の疑い

悪質な選挙の事前運動摘発に乗り出した渋谷署では昨十六日中野区本町通一の一一徳島元太郎(五六)武蔵野市吉祥寺町二九六六林坂節夫(三〇)の二名を公職選挙法違反容疑で逮捕したが、十七日午前七時引続き渋谷区向山町四九梅田方工員来末喜(三五)と同区恵比寿通一の三八無職韓国人李在鴻(四二)を同容疑で検挙、身柄を同署に留置する一方、家宅捜索を行い証拠書類若干を押収した

二人は黙秘権を行使しているが調べでは東京三区選出の革新系候補某氏の運動員で、二人とも候補者の写真の入った違反文書をもち、有権者宅を戸別訪問しばらまいた疑い、同署はこれで保守系、革新系の運動員計四名を逮捕した

九段で自動車会社火事

十七日午前二時卅分ごろ千代田区九段四の八丸甲自動車株式会社九段営業所（責任者＝金石康弘さん）運転手詰所から出火、木造平家一棟約廿五坪を全焼した、ストーブの火がガソリンに引火したもの

坂口安吾氏

（本名＝炳五、作家）十七日午前八時群馬県桐生市本町二の二六六一の自宅で脳出血のため死去、四十八歳、新潟県出身

あすのスポーツ

△スキー 全國高校選手権（秋田）△大相撲（名古屋）△競馬（船橋）

独眼灯

○…本社主催一九五四年各界総合人気女性読者投票第二位に入選した女優高峰秀子さんの賞品授与が十六日本社社長室で行われた

○…高峰さんは昨年は『女の園』『二十四の瞳』など最高優秀映画に出演して名方面から多くの賞を獲得して人気は最高頂、地味な服装が似合う彼女は築社長からトロフィーや賞品を渡され『こんなに多くのファンから推されて感激にたえません』とニッコリ、ファンの絶大な支援に入賞の喜びをもらした【写真は築本社長から賞品を渡される高峰秀子さん】

パチンコ景品買い
五反田で三名検挙

大崎署では十六日夜十時半ごろ品川区五反田一の二七三先でパチンコの景品タバコを買っていた墨田区吾嬬町西八の三六神田方李乙出(三九)横浜市中区山下町一二六金賢娥(四九)文京区林町一一〇康貞烈(三七)のいずれも女三名を専売法違反で検挙、ピース、光、新生など八百廿一個を押収した

自動車強盗捕わる

十六日夜九時半ごろ千代田区神田三崎町三ノ三八帝都交通運転手鈴木昭男さん(二八)は国電有楽町駅前から横浜までの約束で若い男を乗せ、横浜市磯子まで行ったところ客は東京へ引返してくれというので国電神田駅ガード下まで来たところ小便がしたいと車外に降り、梶棒ようのもので金を出せと脅迫、鈴木運転手は車をわざと舗道に乗り上げ車外に逃げ出し本富士署に……

続 情炎の千代田城 (31)

岩崎栄
寺本忠雄 画

敵情 (八)

夜明け近いころだった。酔って、怪奇な山寨の柔らかい絹夜具に、グッスリ眠っていた木人が、フッと眼を醒ました。

ありあけ行燈の灯りが消えて、障子に月がさしている。

その月光が、鉄砲を脇にかい込んで立つ男の影を、黒絵のように映している。

木人は物音もたてずに、ソッと起きて片膝をたて、小首をひねる。

鉄砲を持つ男のうしろから、も一つ黒い影の忍び寄って行くすがたが映って来た。

木人の顔に会心の笑いが浮かび、うん！ とうなずく。お静がやって来たとわかったのだ。

お静の影が刀を抜いた。鉄砲の影は気がつかぬ。お静の影が、鼠を狙う猫のように、腰を低く、背をまるくした。

おどりかかった！ うしろから突き刺した。仆れかゝるのを片手に抱きとめ、片手で鉄砲を取った。

抱いていた相手の体を、ソッと下に寝かせ、刀を拭っておさめると、鉄砲を提げて縁側に這いあがった。這ったまゝで耳を障子のたて合わせに押しあてた。

木人がその影へこれもまた這い寄って行った。

『はいれよ』

さすがに、ハッとしたらしかったが、すぐにうなずき、にッとした眼もとで、スーッと障子を開けた。開けたまゝで部屋の中に座り込むと、おし殺した声で、

『先生ッ、お変りございませんでした？』

『うむ、手厚いもてなしをうけて居る』

『まァ』

『山の釜鎮が、わしの運ばれるあとをつけさせたのだな』

『えゝ。それで、あそこの多摩河原に勢揃いしています』

『釜の一味か』

『山のものが六十人ばかりと、定吉おじさんと、千代さんと、エノ親方と、それから町内の火消が三十人、先生の号令を待って火蓋を切るって、たいへん張り切っています』

『八百定一家をみな、無事に救い出してくれたのだね、お辰も』

『えゝ、皆無事に』

『でくろうであった』

『どうします先生。戦さをします

か』

『いや、当分のうちはそッとして置こう』

『じゃ、早く帰りましょうよ』

『よし』

と立ち上った。妙な着物をきせられている。女頭目のだろう、中型のユカタに、小紋で緋裏で黒衿の丹前、トキ色の紐を結ンでいるから、お静がフヽヽと吹き出して、あわてゝ口をおさえた。

外に出て、木人が、

『あゝこれだ。待ってくれ』

転がされていた死体を抱き上げ寝床に臥かせ、鉄砲を抱かせた。お静がそれに夜着をかぶせて合掌した。

外は、地面でなく一坪ばかりの岩盤だった。そしてこの岩が、深い谷の上へ、ヒサシのかたちで突き出している。

月窓院の山門からいうと、こゝは山腹を裏側に突きぬけた頂上らしい。

岩の突端に、さしわたし一尺ばかりの、ツルベ井戸の滑車みたいなものが取りつけてあり、太い綱がかかって居り、綱の端に人間がはいれるくらいな笊が結びついている。

『さ、早く。先生』

『うん、しからばお先きに失礼仕る』

『じょうだんじゃありませんよ』

秘策練るKRテレビ番組

ラジオ東京テレビは四月一日から放送を開始するが、その番組については先輩格のNHKテレビ、NTVをアッといわせてファンを横取りしようと、いま秘策を必死になって練り返しているところでKRテレビがご自慢とするラジオ兼業から、当然ラジオでの人気番組がテレビにも乗るわけだが一体それではどの番組が同時放送されるのか、出演者のフトコロ具合にも直接響くこととてスタジオでの話題はかまびすしい

同時放送の準備進む

松井翠声、藤原釜足らがお目見得
代る出演者の顔触れ

徳川夢声　河井坊茶　松井翠声　藤原釜足

すでに同時放送を予定されているものに『タレント・スカウト』『ラジオ浮世亭素人寄席』『のんき裁判』の三本がある『タレント・スカウト』は文字通り、俳優歌手の卵を掘出そうとする番組で、テレビ番組としてはうってつけ…した時に『タレント・スカウト』のヒントをKRに与えた当事者

であり、現在契約中のNHKはこの三月で縁切れとなるからこの点のイザコザは別に起りそうもない

また河井坊茶にしても翠声は早大出身の先輩でもあるところから司会役を譲ることを快く承諾しているという『ラジオ浮世亭』は先頃まで真打連中の出演番組であったものを、テレビ向きにするためにファンも出演できる『素人寄席』として公開番組に切替えて準備中、また『のんき裁判』もその構

長の徳川夢声が十七日から藤原釜足に代ることになったのは、夢声ではジミすぎるという評判で〝更

女性向きクイズ有力

新番組さっそうと登場か

この他テレビ番組として扱えるものに女性向きの『おしゃれクイズ』『私が買いましょう』が有力で、続いては『バイバイ・ゲーム』『ドレミファ・ゲーム』『ファイブ・ゲーム』など御存知のクイズものさらに今月からテレビを控えての番組変更という含みをもって登場した新番組『トニー劇場』『歌のカーニバル』が敵は本能寺といったところだ、たゞ歌謡番組は歌手の演技の出来不出来が直ちに演出者の成績にもひゞくものだけに、KRテレビ局では

『簡単には出せない、歌手の中には楽譜をみて歌うものがあるから、あれではブチこわしだから—』

といっていささか敬遠のかたちである

ところで番組の構成からいってテレビにあつらえ向きであるからといって、結局はスポンサーの意向次第で決まる話だからKRも頭を痛めており、開局までの向う一ヵ月間は、いずれにせよスポンサーの獲得活動に主力を注がれるわけだ

映画やぶにらみ

生きとし生けるもの（日活作品）

▽…卑屈な言動をサラリーマンの最良の保身術と思いこんでいる兄（三国連太郎）その兄に感謝しながらもひそかに反発を感じている正義感の強い弟（三島耕）そして他人のボーナス袋に一万円多く入れ違えたばかりに、毎月の月給から二千円を天引される会計係の女事務員（南寿美子）といずれも貧しい生活の三人が主人公、これをめぐるのが社長（山村聰）とその息子（山内明）女事業家（轟夕起子）令嬢（北原三枝）秘書（北原三枝）はては社長の恩人で北海道の老鉱山主（笠智衆）といったように登場人物も多く、ストーリーも生活、愛情、金等々と色々な問題が盛り沢山になっている、つまりは生きとし生けるものすべて幸福なれ、というわけだが、この山本有三原作の長篇小説を西河克己監督が丸年懐ろにあたゝめていた映画化だけに、第一回演出としてはなかなか力作の部類

▽…とにかく彼が長い助監督生活でやりたいと思っていたことをあれもこれもと取入れた気持は判るが、思わせぶりな移動シーンや凝ったカットが多すぎて少々眼ざわりだ、しかし貧しい兄のボーナス袋に問題の一万円が入っていて、これを知らずに愛し合う女事務員との話などになると感情のジレンマなどの組立ても立派で、メロドラマ作家としては及第点といえよう、出演者も笠、山村、轟といったベテランと共に南寿美子が初めて演技らしい演技で一躍北原と肩を並べる主役クラスにのし上がった感じ、それにしても二時間十分という長尺だけに、後半にいささか乱れが見えたのは惜しい（勇）

【写真はその一場面、南と三国】

芝居みたまま

不発の〝人身売買〟批判

民芸『ものいわぬ女たち』

※…第三回新人公演に秋元松代の『人身売買第一話』を出している、北関東のある農村、農地解放で自作農になった竹治（日野道夫）は食うや食わずの末、結局土地をとりあげられ、弟嫁（入江杏子）を酌婦にした上に次女（吉行和子）

子）、身体をこわしながら再度身売りする女（津村悠子）の悲哀など女性の需給関係の場を対比させ作者が女性としての純粋な怒りをぶちまけている点は感銘深いが、間口を拡げすぎてまとまりがつかぬ、小夜の克明さは出色で力演、研究所から抜てきされた大塚がシンの強さを見せ、佐々木すみ江の青線女将も好演、演出は松尾哲次、一ッ橋講堂（杏）

【写真はその一場面】

浅香光代カムバック
浅草奥山劇場に出演

女剣劇一方の雄浅香光代が三月一日から浅草奥山劇場に三ヵ月ぶりでカムバックする

彼女は昨年十一月ロック座の舞台へ久々に立ったが、演しものの内容や演出上の行き違いから劇場側と対立、ふたたび鳴りを静めていたもの

今回のカムバックに当っては旧座員七、八名を同行、座長として乗込むが、一日からのお目見得狂言は『木曽節乗太郎』『おしどり笠』の二本と決定した

【写真は浅香光代】

ロケは花ざかり —11—

北関東

イロ模様變じビロ模様

姐さんからサービスうける菅佐原

これはごく最近の、そして少々バッチイ話だ、むかし日活で田坂具隆が演出した山本有三の名作『路傍の石』の再映画化のため、松竹の原研吉監督以下主人公吾一少年役の坂東亀三郎（菊五郎劇団坂東彦三郎の長男）山田五十鈴、菅佐原英一、須賀不二夫らが前作と同じロケ地栃木市に出かけた、廿年ぶりのロケーションというので全市挙げての大歓迎だったが、まあ無いなかを選ぐってキレイどこの姐さんも駅頭に出迎えたわけだ、その中に一人熱烈な菅佐原ファンがいた、そこで彼の姿を汽車のステップに見出すや否や飛びついて行って、彼に右手を差出したものだ

それから三日後、昼間の撮影が無事に終り、一風呂浴びて同室の須賀不二夫と夕食の膳に向っていると、襖の外から『ごめん下さいまし』と淑かな声がする、『どうぞ』というと入って来たのは例の芸者である、それからが大変で須賀のいるのも眼に入らない様子の彼女、菅佐原にお酌をするやら、ブキッチョな彼のために焼魚をムシッてやるやらの大サービス、飯になると、取寄せてあった彼の好物の寿司を彼女自ら醤油をつけて口に持って行き『あーんしなさい』といった具合、傍らの須賀『クソッ、こっちも負けちゃいねえぞ』と飯もそこそこに飛出して行ってその晩は帰らず、残って水入らずになった二人さん、えんえんとおしゃべり（だけだったかどうかは、保証の限りではない）を続けて深更三時に及んだそうだ、ここに迷惑をこおむったのは隣りの部屋の原監督、どうにも彼と彼女の様子が気になって眠れない、寝ついたのは暁方四時になってからだったそうだ

【写真は『路傍の石』の坂東亀三郎、栃木市ロケの一コマ】

翌日方ムチャクチャにもてて女を送り出し、一人ニヤニヤしながら床に就いた菅佐原、から、睡眠不足でボーッとなって

ふと彼女が『あたし駅であなたと握手した右手、今日まで三日間洗わずにいたのよ』

といった言葉を思い出した、その話を聞いたときはいささかいい気分で『何とファンの純情さよ』と思ったものだが、ツラツラ考えると三日間生理現象をガマンできるわけがない

『するてえと彼女はトイレに行っても…、ギョギョッ、その指でさっきはスシをつまんでオレの口へ、ウヘエ』

この話を止せばいいのに彼、翌日になって撮影現場でやったものだから、いた原監督と、あてられ被害者の須賀の二人『何だ、イロ模様変じてビロ（尾ろう）模様か、ざまアみろ、ワハハ』と腹を抱えてよろこんだ

須賀不二夫

ロケに野次馬はつきもので、スタッフ達の役得の一つは群衆整理にことよせて『下って下って』といゝながら見当をつけた見物の女の子のオッパイをギュッと押してみることだが、助監督氏がこゝでもそれをやったところ、トタンに『この助べえッ』と怒鳴られた、整理でドナッても男はおとなしいが、女たちは黙っておらず、必ず『何だとォ』と怒鳴り返す、カカア天下は隣国の上州だけではないらしい

▽…ところが彼にこの癖の真相を聞いてみると『これはね、風邪のハナってやつでして、私は風邪をひくと必ずこれができるたちなんですよ、それを皆さんが、女にひっかかれたのだろうなどと誤解するわけで、いやニ枚目はつらいもんです』とシャアシャア、最近は二枚目の相場も下ったもんだねー

…ひやかされている、そこで会う人ごとに『亀さん相変らず、やられているじゃないか、ますます恐妻病だね』なんて

【写真は八志慶亀生】

▽…マーキュリーレコード専属、元鈴村一郎の八志慶亀生旦那、最近鼻の頭にヒッカキ疵のような赤い斑点をつけてい

名選都々逸

石井きんざ選

子供の唱歌をこの頃聞けば　いきな黒べいのお富さん　千葉・大塚桐久

慰め合っても夜汽車のベルは　所詮別れを告げるだけ　世田谷・森山阿呆奴

チャルメラの音が呼気をこんなに誘う　他人の晴れ着を縫う追憶　船橋・稲村三久

次の逢う日をまた念して　名残りせつない別れ道　文京・木村いつ秋

女盛りを一人で暮てる　我が身で我が身がいじらしい　船橋・今井ちさと

笑う日泣く日のある人生に　あたしにゃ泣く日が多すぎる

◇もよおし◇ 近衛管弦楽団第十六回定期演奏会　廿六日六時半、日比谷公会堂、シューマン作交響曲第三番『ライン』ほか

おしゃべり横丁

中共へ定期航空

ハネをのばすと、だれでも赤線区域に行きたがるんだな

—道楽恵子

『浅草オペラを偲ぶ会』

18日浅草伝法院で開催

ペラゴロクラブ及び浅草の会共同主催の『浅草オペラを偲ぶ会』は十八日四時から浅草伝法院客殿及び六書院で開かれる

当夜はさる一月十八日浅草の会出席の帰途交通事故で死亡した元オペラ歌手藤村梧朗の霊を慰める法要のほか、田谷力三、木村時子、篠原正雄、内山惣十郎、藤村梧郎らによる『浅草変遷史』の放送録音再生や松山浪子、東綾子、松本みどり、東山照子、最上千枝子らによる即興小劇場などが予定されている